

令和3年度第1回寒河江市地域づくり推進委員会（書面開催）の結果について

## 1. 協議事項・協議結果

5月13日付で書面により開催し、全委員より回答あり。

協議事項及び協議結果は次のとおり。

### (1)令和2年度実施事業のさがえ元気づくりAWARD2020（地域貢献部門賞）への推薦について

2020年度の採択事業は、事業規模が小さい地域よろず応援事業のみであったことなどから推薦団体なし（全会一致）

### (2)令和3年度実施事業（地域よろず応援事業）の採択について

全ての申請事業を採択相当とした（全会一致）

[申請事業についての意見]

#### ①鹿島YYG塾（鹿島YYG塾推進委員会）

- ・境内のカブトムシの観察箱は、子どもたちに身近な楽しみになるであろうと感じる。
- ・継続性は評価でき、今後も息の長い活動を期待したい。しかし、広がりが見えず、コロナ終息後には何か新しいことをしないと活力が失われそう。
- ・地域内の世代を超えた多様な交流の場をつくろうとされている優れた取り組みと思います。
- ・住民の集いの場として定着しつつあることは、これまでの成果として大いに評価できる。継続事業は参加メンバーが固定化に向かう弊害もはらむことから常に新規性を確保して欲しい。

#### ②「平塩の塩」商品化調査事業（平塩の塩研究会）

- ・商品化となることは、市の新たな観光スポットにつながる期待がある。
- ・活動報告を見ると、取り組みが本格化してきたと感じる。しかし、「使われ、評価され、地域を活性化させる」という目標までは、時間がかかりそう。関わる人々の拡大が求められる。
- ・塩作り体験会など地域住民参加の取り組みを通じて地域内の交流を広げて

欲しい。

- ・地域資源の活用と歴史的、文化的意義の高さは、評価が高い。製品の付加価値創造、生産力向上、マーケティング、アナウンスメントが課題。山形大学との連携（ミネラル効能評価）や観光事業とのコラボなど、事業化に向けた取組み強化を期待したい。

#### ③ふるさと活性化交流事業（幸生区）

- ・地域の核だった幸生小学校が閉校となり、活性化は今まで以上に大きな課題だ。一方で、コロナ禍のため人を集める機会には慎重になる必要がある。工夫して、地域の一体感をつくる安全な方法を考えたい。
- ・コロナ禍で減っている地域内の交流の機会を復活させるよう、取り組み内容や運営上の工夫を期待したい。
- ・地域の伝統、文化継承、人口流出減少問題など高いハードルに対しては、難しいことではなく、身近な行事を大切にすることが第一歩であることを思い知らされる取組みとして評価したい。

#### ④日田地区交流夏祭り（日田地区体育振興会）

- ・他周辺地区まで広がっていけば、市全体の活性化につながるのではないだろうか。
- ・夏祭りをきっかけに世代間の交流が進むことを期待したい。
- ・日田地区のすべての活動団体で構成されている事業であり、世代間交流の意義が認められる。他地区との祭り交流など、まちづくりに資するイベントの深化にも今後期待したい。

#### ⑤谷沢の歴史を語る会（谷沢の歴史を語る会）

- ・今後、世代を超えて、愛着をもち、交流のできる、子どもたちが興味をもてるような会報や会合を期待したい。
- ・幅広い視点から谷沢の歴史を掘り起こすことで、住民の地域への関心や愛着が深まっていくことを期待したい。
- ・研究、調査内容を会報として配布することは文化歴史継承の観点から大変意義の大きいものと評価する。

以上

令和3年度 地域づくり応援事業 地域よろず応援事業 評価シート集計表

No.	事業名	交流拡大の効果 (世代間の広がり)	新規性・ 拡充性	今後も継続して事 業を実施すること が見込まれること	ひと・もの文化等 の地域資源を活用 すること	総合評価 (地域の活性化に 資するか)
1	鹿島Y Y G塾 (鹿島Y Y G塾推進委員会)	A	B	B	B	B
		B	C	B	C	B
		A	B	A	A	A
		B	B	A	A	B
2	「平塩の塩」商品化調 査事業 (平塩の塩研究 会)	B	A	A	A	A
		B	A	A	A	A
		B	A	A	B	A
		B	B	A	A	B
3	ふるさと活性化交流事 業 (幸生区)	A	C	B	C	B
		B	B	B	B	B
		A	C	B	B	B
		B	C	A	B	B
4	日田地区交流夏祭り (日田地区体育振興会)	A	B	B	B	B
		C	C	B	B	B
		A	C	A	B	B
		A	B	A	B	B
5	谷沢の歴史を語る会 (谷沢の歴史を語る会)	B	B	C	B	B
		B	A	A	B	B
		B	B	A	A	B
		B	B	A	A	B

令和3年度 地域づくり応援事業 地域よろず応援事業 評価シート(自由記述)

No.	事業名	備 考 (その他評価できる点等)
1	鹿島YYG塾 (鹿島YYG塾推進委員会)	<p>○境内のカブトムシの観察箱は、子どもたちに身近な楽しみになるであろうと感じる。</p> <p>○継続性は評価でき、今後も息の長い活動を期待したい。しかし、広がりが見えず、コロナ終息後には何か新しいことをしないと活力が失われそうだ。</p> <p>○地域内の世代を超えた多様な交流の場をつくらうとされている優れた取り組みとと思います。</p> <p>○住民の集いの場として定着しつつあることは、これまでの成果として大いに評価できる。継続事業は参加メンバーが固定化に向かう弊害もはらむことから常に新規性を確保して欲しい。</p>
2	「平塩の塩」商品化調査事業 (平塩の塩研究会)	<p>○商品化となることは、市の新たな観光スポットにつながる期待がある。</p> <p>○活動報告を見ると、取り組みが本格化してきたと感じる。しかし、「使われ、評価され、地域を活性化させる」という目標までは、時間がかかりそう。関わる人々の拡大が求められる。</p> <p>○塩作り体験会など地域住民参加の取り組みを通じて地域内の交流を広げて欲しい。</p> <p>○地域資源の活用と歴史的、文化的意義の高さは、評価が高い。製品の付加価値創造、生産力向上、マーケティング、アナウンスメントが課題。山形大学との連携 (ミネラル効能評価) や観光事業とのコラボなど、事業化に向けた取組み強化を期待したい。</p>
3	ふるさと活性化交流事業 (幸生区)	<p>○地域の核だった幸生小学校が閉校となり、活性化は今まで以上に大きな課題だ。一方で、コロナ禍のため人を集める機会には慎重になる必要がある。工夫して、地域の一体感をつくる安全な方法を考えたい。</p> <p>○コロナ禍で減っている地域内の交流の機会を復活させるよう、取り組み内容や運営上の工夫を期待したい。</p> <p>○地域の伝統、文化継承、人口流出減少問題など高いハードルに対しては、難しいことではなく、身近な行事を大切にすることが第一歩であることを思い知らされる取組みとして評価したい。</p>
4	日田地区交流夏祭り (日田地区体育振興会)	<p>○他周辺地区まで広がっていけば、市全体の活性化につながるのではないだろうか。</p> <p>○夏祭りをきっかけに世代間の交流が進むことを期待したい。</p> <p>○日田地区のすべての活動団体で構成されている事業であり、世代間交流の意義が認められる。他地区との祭り交流など、まちづくりに資するイベントの深化にも今後期待したい。</p>
5	谷沢の歴史を語る会 (谷沢の歴史を語る会)	<p>○今後、世代を超えて、愛着をもち、交流のできる、子どもたちが興味をもてるような会報や会合を期待したい。</p> <p>○幅広い視点から谷沢の歴史を掘り起こすことで、住民の地域への関心や愛着が深まっていくことを期待したい。</p> <p>○研究、調査内容を会報として配布することは文化歴史継承の観点から大変意義の大きいものと評価する。</p>